

## 公表

## 事業所における自己評価考察票

○事業所名	放課後デイサービスみのり			
○保護者評価実施期間	2025年10月10日 ~			2025年11月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2025年10月21日 ~			2025年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月30日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員や子どもの状態等に対する職員配置数	一般型の事業所として指定を受けているが、利用児の特性を考慮し、令和7年4月から看護師2名体制としている（一般型放デイに看護師の配置義務なし）。このことにより、医療的ケア児に対してより適切に対応できるようになった。	職員数を維持するとともに、利用児の状態に合ったサービスが提供できるように、さらなる質的向上に努めていく。具体的には外部研修への参加や他法人他施設の見学を積極的に行うことで専門性を高めていく。
2	学校との情報共有	毎日のお迎え時の引継ぎのほか、担任の先生との定期的な面談（学校連携）を行っている。また、学校運営協議会の委員として参画して情報交換を行うとともに、学校に対して意見・要望を提出している。このほか、実務については年4回の施設間連絡会議（ひまわり学園、ひまわり特支、みのり）で調整を行っている。	今後も継続してひまわり特別支援学校との連携に努め、適切にサービスを提供する。また、みのり園の事業も視野に入れ、令和5年度に新設されたグリーン部門（知的障害教育部門）との連携も深めていく。
3	地域の他の児童関係施設との交流	夏休み期間を利用して近隣の児童センターを訪問し、交流を図っている。児童センターでは普段とは違う遊具を使って遊んだり、児童センターの利用児と当施設利用児が一緒に遊んだりして過ごしている。	今後も継続して児童センター等との交流を行うこととし、交流先や交流頻度の拡大を図っていく。また、みのり園イベントである「みのりフェス」等の機会を活用し、さらなる交流の場を創出する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援事業所との連携の不足	同一敷地内にはひまわり学園の児童発達支援センター（つぼみ・めぶき・わかば）があるが、交流の機会がほとんどない状態である。	同センターは中核機能強化型の事業でもあるため、運用に応じて助言やスーパーバイズが受けられるようにアプローチする。また、同センターが主催する研修には、積極的に参加していく。ともに西区地域協議会（こども部会）のメンバーでもあるため、会議等を通じて連携を深めていく。
2	家族支援の不足	懇談会は年1回開催しているものの、それほど参加者は多くない状況である。ニーズ調査等により、保護者が事業所にどのような関わり、どのような支援を望んでいるのか把握していく必要がある。	ニーズ調査を行い、その結果を踏まえて家族向けの研修や家族支援プログラム、家族参加型のイベントを実施するなどの方策を検討する。
3	活動プログラムの固定化	事業所で提供するプログラムは、集団遊びよりもご本人が好む一人遊びが主となっている。利用児の状況や特性もあり、遊びの内容も固定化している傾向がある。	前述の中核事業所からのアドバイスや、他法人他施設の見学、外部研修への参加等により専門性を高め、提供するプログラムのバリエーションを増やしていく。また、集団遊びも取り入れられるように支援内容を工夫していく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後デイサービスみのり
------	--------------

公表日 令和8年1月27日

配付数 13

回収数 10

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		7	2	1	○人が足りない。	○ご意見いただきありがとうございます。職員数は放課後等デイサービスの配置基準を満たしておりますが、「足りない」というご不安を与えないようより一層努めてまいります。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	9	1				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	3				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	2				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	3				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。			3	4	3	○今年度は夏休み期間に植水児童センター、馬宮児童センターへ行き、地域の子どもとの交流をしました。来年度も継続し、地域交流を進めてまいります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	3	2		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9		1			

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		2	6	2		○重要事項説明会を毎年1回実施しています。ご家族の負担を考慮した形で、保護者会等の実施ができないか検討してまいります。 ○きょうだい支援につきましては、ご要望を確認し、必要に応じて実施を検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1		2	○急な変更にいつも対応していただき感謝です。	○ご意見いただきありがとうございます。変更につきましては、できる限り対応してまいります。今後もよろしくお願ひいたします。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	2		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	1		4		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7	3				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	3				
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	2			○いつもありがとうございます。 ○いつも温かく対応していただきありがとうございます。急な用事でお迎えが間に合わない時など、直前の申請でも受け入れて貰えるので、本当に助かっています。また学校との情報交換など、連携体制が整っていることも安心感があります。今後の希望としては長期休み中の昼食提供や土曜日の利用も可能になるとありがたいです。これからもどうぞよろしくお願ひします。	○ご意見いただきありがとうございます。学校との連携は当事業所の特徴の一つでもあります。今後も選ばれる施設を目指して丁寧な支援に努めてまいります。 ○昼食提供につきましては、みのりで作ることは難しいため、外注でできないか等検討しているところでございます。土曜日営業につきましては、『障害者福祉施設みのり園』の事業をしているため、現時点では考えておりません。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

## 公表

## 事業所における自己評価集計表

事業所名	放課後デイサービスみのり				公表日 令和8年1月27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2		マットで横になる方がほとんどなため、6名以上はせまく感じる。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・今年から看護師2名体制となった。 ・R7年4月から看護師2名体制となり、医療的ケア児に対して適切に対応できるようになつた。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		子どもにとってわかりやすいかは疑問である。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	1	・毎日消毒をしている。 ・中規模修繕により環境が改善された。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1		部屋に限りがあるため、いつでも個室対応が可能とは言えない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	3		目標設定があいまいに感じる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	アプリを活用したアンケートの実施、懇談会の実施など。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	職員会議の定期実施、始業前の打ち合わせの実施。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		令和6年度に受審し、改善に向けた取組を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		研修計画に基づき、計画的に研修に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		ホームページ上でプログラムを公表している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	2		計画の策定にあたり、子どもと保護者のニーズをさらに汲み取る仕組みづくりが必要だと感じる。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	支援計画会議を開催し、充分な検討・評価を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	4		アセスメントツールの活用や、結果の共有についての課題があると感じる。
適切な支援	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	4		

又 援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	6		・長期的にみると固定化していると思う。 ・利用者の特性による部分もあるが、プログラムのバリエーションがやや少ないと感じる。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	6	・交代制の勤務であるため、振り返りは次の日の打ち合わせと併せて行っている。 ・業務日誌等を通じて、申し送りをしている。	気づいた点はノートに記入し共有しているが行われた支援の振り返りとしては弱い。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10			基本活動の(2)創作活動と(3)地域交流の機会の提供については、更なる取組が必要だと感じる。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		計画相談のモニタリング対応等	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	西区地域協議会（子ども部会・おとな部会）に参画している。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		担任との定期的な面談（学校連携）及び毎日のお迎えの際の情報共有。学校運営協議会への参画。ひまわり学園の施設間連絡会議での情報共有。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	6		学校とは密だが、ひまわり学園の療育部門との交流はほぼない。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4		令和6年度に1件の実績があったほかは、現状で連携の実績がほとんどない。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	5		現状で、連携の実績がほとんどない。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	10		夏休み期間等に、近隣の児童センターに行き、交流を行っている。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2	西区地域協議会（子ども部会・おとな部会）に参画している。	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送り迎えの際に情報共有するとともに、連絡アプリを通じて相互に情報伝達を行っている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	7		相談があれば個別に対応しているが、研修の機会はない。家族支援プログラムについても未実施である。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	7	保護者懇談会は年1回実施している。	保護者同士、兄弟同士の交流は行っていない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	2	Instagramや公式LINEで情報発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	6		特にコロナ禍以降は、積極的な招待は行っていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	1		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	3		食事、おやつは全て保護者が準備しているため、特に指示書に基づく対応は行っていない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10			